

2020年度事業実績報告の概要(小規模事業者経営支援事業費補助金関係)

団体名: 御津町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考		
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価			今後の展開・改善点等			
				指標	達成度	指標	達成度	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	調査結果		調査結果	
巡回・窓口相談指導事業	昨今の機動的状況が踏まえつつ、一般的な経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労働相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めた経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。加えて、その効果をより高めるための税務講座や補助金、販路拡大支援等各種施策を活用を促し、成長を後押しするものとする。併せて、地域経済の維持発展を促すという観点から、事業承継及び経営分析事業、事業計画策定にも力を入れていくことで、小規模事業者数の拡大を期する。	【巡回指導】 -191件(内 実企業 70件) 【窓口指導】 -452件(内 実企業 113件) 【創業指導】 -巡回指導 0件(内 実企業0件) -窓口指導 0件(内 実企業0件) 【課題解決提案件数】 -24件 【経営革新承認件数】 -11件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 111.6 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 120.0 %)	小規模事業者の頼れる相談相手となり、各職員の立場から小規模事業者に役立つ指導と支援が見込まれた。特に、経営革新計画承認申請や補助金等各種施策活用支援を行ったことで、小規模事業者の将来展望醸成や経営改善に役立つことが出来た。	総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	今後も経営発達支援計画等の趣旨に沿い、小規模事業者の総合的な発達を図るため、成長願望醸成や、経営改善のための援助に注力する。併せて、種々の充実により、積極的に提案することで後等の課題解決を後押しする。
目標数値	576	実績数値	643	目標数値	20	実績数値	24	調査結果	A	必要性	調査結果	A	調査結果	現行どおり	現行どおり	
記帳継続指導	商工会職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。併せて、得た結果を自ら分析し経営向上に役立てるよう指導に力を入れる。	1. 記帳継続指導、決算指導、確定申告指導の実施 2. 指導日数 283日 3. 指導回数 500回	小規模事業者	指標	指導対象者数 (達成度 105.4 %)	指標	指導延回数 (達成度 142.9 %)	記帳方法や決算、確定申告の指導により、的確な税務申告と事業者の計数管理の育成をすることにより経営判断力の向上につながった。	総合評価	A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を図り、引き続き指導を実施していく。結果を将来計画策定に結び付けるべく指導に心掛ける。
目標数値	37	実績数値	39	目標数値	350	実績数値	500	調査結果	A	必要性	調査結果	A	調査結果	現行どおり	現行どおり	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な知識習得や時事的な問題について啓蒙を図り、事業者の資力の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。①記帳継続指導会 4回 11人 ②記帳継続指導会 6回 13人 ③新型コロナウイルスの影響に関する特別窓口相談会 6回 27人	【集団】 経営 2回 23人 【個別】 ①確定申告個別指導会 4回 11人 ②記帳継続指導会 6回 13人 ③新型コロナウイルスの影響に関する特別窓口相談会 6回 27人	小規模事業者	指標	実施回数 (達成度 105.9 %)	指標	参加人数 (達成度 51.0 %)	小規模事業者の経営改善、税務に関する知識など資力の向上が図られ事業運営の一助となった。	総合評価	B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者が必要とするテーマに沿った講習会の開催に心掛け、よりいっそう経営改善に資するものとする。
目標数値	17	実績数値	18	目標数値	145	実績数値	74	調査結果	B	必要性	調査結果	B	調査結果	現行どおり	現行どおり	
若手後継者等育成事業	今年度も「BCPセミナー」を実施する考えである。前年度に開催した事業継続計画(以下BCP)セミナーでは、参加者がなかなかたのむもの大きな気付きと満足を得る結果となった。しかし、時間的な制約と取り扱う課題の理解に、基礎を固める内容となったことから、十分な計画を立てるまでには至らなかった。そこで、今回は、BCPの具体的な計画を立てることを目標としたセミナーの開催を軸として計画し、成果がもたらされるよう努めていく。また、昨今の情勢を鑑み、事業承継・融資利用など、喫緊に取り組むべき課題が突発的に生じる可能性もあることから、その際には柔軟にテーマを変更して満足感のあるセミナーを実施していく。	【セミナー開催】 BCP 1回 11名	小規模事業者及び商工会青年部	指標	セミナー参加人数 (達成度 55.0 %)	指標	(達成度 %)	実際に自分の仕事をしているエリアが自然災害に対して危ないエリアなのかを知ることができ、対策を考えたことができた。また、実際に事業継続計画を作成することにより、今現在の自身の事業課題が見つかり、具体的な方策を考える機会になった。従業員や家族とも今回のセミナー内容を話し合っており、事業に繋げられるよう、今後の事業について策定するきっかけになった。	総合評価	B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	今後とも若手後継者が必要としており、かつ多くの参加が見込まれるテーマについてセミナー等の開催し、彼等の将来的な課題解決の一助となるよう努める。
目標数値	20	実績数値	11	目標数値		実績数値		調査結果	B	必要性	調査結果	B	調査結果	変更する		
祭典事業(イベント事業)	みとふれあいまつりを開催することにより、その集客力を活かして参加小規模事業者の販売活動を促進し、商工会のPRを図ると共に地域の総合的な振興を図る。	みとふれあいまつりを10月25日(日)に開催する予定であったが、コロナの影響により中止した。	小規模事業者	指標	参加者の満足度調査結果 (達成度 %)	指標	(達成度 %)		総合評価		自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	実施時期、場所等も含めて見直しを行って、また、多くの来訪者を確保出来るよう着目して新しいアイデアを模索しつつ今後も実施し、商工会の認知度アップと地域貢献、商工業者の活性化につなげる。
目標数値	70%	実績数値		目標数値		実績数値		調査結果		必要性	調査結果	開催がされたため、調査不可	調査結果	現行どおり	実施方法②	

2020年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 御津町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価								
				指標	事業参加者数(合計)	(達成度 %)	指標	事業参加者数(合計)	(達成度 %)	自己評価	満足度	補足	目標①			目標②	引き継ぎ活動支援を実施していく。				
商工業振興事業(御津鐵工会)	御津鐵工会の活動をサポートすることにより、町内鉄工業者の活性化に資するとともに、施策情報をも的確に提供し経営支援事業の円滑な推進を図る。	【簡分祭】 八観神社宮司による神事・豆撒きを行い、会員企業の無病息災、商売繁盛を祈願した。 実施日:令和3年2月2日(火) 参加者:7名	御津鐵工工会員	指標	25	実績数値	7	指標		実績数値		町内鉄工業者との意思疎通、意見交換等が円滑に行われたことで、経営支援につながった。	自己評価	B	満足度	B	補足	コロナの影響で事業のほとんどを開催できず、目標を大きく下回った。	目標①	目標②	引き継ぎ活動支援を実施していく。
青年・女性部事業	①イベントの実施により地域貢献事業を通じて町民とふれあい、地域と関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与するとともに、存在を知らしめる。 ②部員相互のふれあい活動を実施し、異業種間の情報交換を行い経営力の向上を図る。	【青年部】 ①社会奉仕活動 商工から愛知御津駅に向けてゴミ拾いを行った。 実施日:令和3年3月28日(日) 参加部員:9名	商工会青年部	指標	70%	実績数値	87%	指標		実績数値		青年部員・女性部員がイベント等に参加することにより、部員相互の結束が強まり、組織維持につながった。 交流・親睦事業などの部員相互の交流の中で、情報交換したり、仕事の幅を広げることができた。	自己評価	B	満足度	B	補足		目標①	目標②	地域貢献と地域とのふれあいを図るため、イベント事業を実施し、部員相互の交流からネットワーク(作り)展開していく。社会貢献事業も実施し、奉仕と知名度向上に努める。また、参加者に隔たりがないよう多くの部員の参加を募るよう引き続き努力する。
労働保険事業	事務処理体制の脆弱な小規模事業者に代わり、労働保険事務代行することにより事務経費の軽減と労働保険補助金の受給等に寄与する。	・組合員事業所の労働保険料の計算・申告を代行した。 ・組合員事業所から労働保険料を徴収し、国庫へ納付した。 ・労働保険の特別加入の申請をした。 ・組合員事業所従業員の入社・退職等に伴う職業安定所への書類提出の代行をした。	御津町内の中 小企業等	指標	52	実績数値	52	指標		実績数値		小規模事業者の事務負担の軽減及び労働関係補助金の円滑な受給が図られた。関連する資金・雇用問題などの相談も多く、真摯な対応により信頼を得られた。また、委託手数料及び国からの親睦金等により自己財源確保に貢献した。	自己評価	A	満足度	A	補足		目標①	目標②	今後とも適正処理に努め、適用促進を図り委託事業主の負担に応える。
産業団体事業	産業団体事業に参画することにより、地域経済の発展に寄与し、小規模事業者の経済環境整備を改善する。	①東三河環状線建設促進期成同盟会②東三河縦貫道路建設促進期成同盟会③豊川公共職業安定所雇用対策推進協議会④東三河広域観光協議会⑤東三河広域協議会⑥名浜道路推進経済連合会⑦愛知県商工会連合会東三河支部⑧豊川商工会議所⑨豊川市観光協会⑩愛知県港湾経済連合会⑪豊橋税務連絡協議会⑫国道23号蒲郡バイパス建設促進協議会⑬暴力追放豊川連絡協議会⑭三河港港湾計画検討委員会⑮三遠南信地域連携ビジョン推進会議⑯愛知県東三河広域経済連合会⑰とくわ創業・起業支援ネットワーク⑱愛知御津駅周辺まちづくり協議会⑲豊川防犯協会⑳豊川税務管内青色申告会連合会㉑豊川水系総合開発促進期成同盟会㉒三河港振興会㉓三河地域新幹線利用促進期成同盟会	小規模事業者	指標	30	実績数値	43	指標		実績数値		産業団体に参画することにより、広域的に産業・経済情報を取得し、それを小規模事業者へ提供することが出来た。	自己評価	A	満足度	B	補足		目標①	目標②	事業者への情報提供のツールとして、地域経済の発展のため、引き続き各産業団体への活動に参画する。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成後の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。